



世代を超えて受け継がれてきた 歴史資産が大切に継承され、輝いている

1 文化財の保存・活用



現状と課題

- 高岡市に数多く存在する有形・無形の文化財は、「高岡らしさ」を形成する地域固有の文化であり、これまでも国内外から高い評価を受けています。
- 文化財を保存・継承していくためには、専門人材による調査研究を進めるとともに、地域住民自らがその価値を認識し、誇りを持ち、地域の魅力として育て、活用していくことが大切です。
- 国宝「瑞龍寺」や重要文化財「勝興寺」をはじめ、多くの文化財の保存修理事業を着実に進めてきました。
- 文化財の保存・継承の担い手は、年々減少しており、場合によっては消滅の危機にあることから、官民が連携し、従来のありようを超えた新たな担い手を発掘するなど、地域社会全体で支援していく必要があります。



施策の展開

国宝・重要文化財の保存・活用

- 国宝「瑞龍寺」、重要文化財「勝興寺」、「菅野家住宅」、「武田家住宅」、「佐伯家住宅」、「氣多神社」などの保存・活用を進めます。

伝統的な町並みや町家の保存・活用

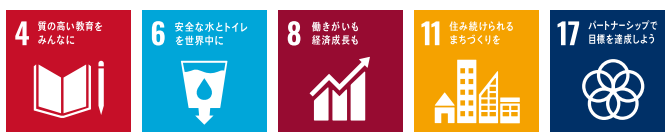
- 重要伝統的建造物群保存地区である「山町筋」、「金屋町」、「吉久」では、それぞれの保存活用計画に基づき、保存地区内の建造物の修理・修景や環境整備を進めます。

有形・無形民俗文化財の保存・活用

- 重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の保存修理を進めます。
- 金工、漆工、木工、菅笠などの伝統技術及びそれに必要な道具や材料の作製・育成・採取の技術を保存するため、後継者の育成や技術の記録保存などの保存活動に努めます。

前田家関連史跡の調査及び保存・活用

- 国史跡「高岡城跡」、「加賀藩主前田家墓所（前田利長墓所）」の計画的な保存整備を進めます。
- 守山城跡の詳細調査を進めます。



埋蔵文化財の調査・研究

- 遺跡の発掘調査を実施し記録・保存するとともに、調査成果の研究に努めます。
- 埋蔵文化財センターを拠点として、埋蔵文化財の広報普及に努めます。

文化財の魅力の発信

- 日本遺産に認定された歴史・文化資産の魅力を国内外に発信することで、交流人口の拡大による観光振興や、関係人口等の拡大による地域の活性化を図ります。
- 地域の発展や福祉の増進に尽力した人物に焦点を当てたストーリーの発信に取り組みます。

世界文化遺産登録に向けた取り組み

- 「近世高岡の文化遺産群」の有形の世界文化遺産登録を目指し、文化財の保存修理を着実に進めるとともに、市民自らがその価値を認識し、地域の魅力として保存・継承できるよう周知・普及活動を続けます。

主な事業

国宝・重要文化財の保存・活用	・ 瑞龍寺・勝興寺の保存・活用
伝統的な町並みや町家の保存・活用	・ 重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理・修景
前田家関連史跡の調査及び保存・活用	・ 前田家関連史跡の調査 ・ 高岡古城公園の魅力向上の検討
文化財の魅力の発信	・ 日本遺産の魅力発信
世界文化遺産登録に向けた取り組み	・ 世界文化遺産登録活動の推進

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値(R8)
文化施設入込者数 (瑞龍寺、勝興寺、武田家住宅、伏木北前船資料館、土蔵造りのまち資料館、伏木気象資料館、鋳物資料館、高岡御車山会館)	260,793人／年 (R元)	292,000人／年



世代を超えて受け継がれてきた 歴史資産が大切に継承され、輝いている

2 歴史的風致の保全・活用



現状と課題

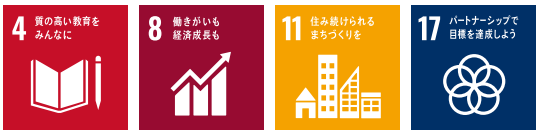
- 市内には歴史的な町並みや歴史的建造物が数多く残っています。また、歴史と伝統を反映した工芸技術が受け継がれ、地域固有の祭礼・年中行事が今も営まれていることと相まって、「高岡らしい」風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。しかしながら、伝統産業従事者の減少や人口減少・少子高齢化による祭礼行事の担い手不足や歴史的建築物の適正管理などが危惧されており、地区住民や市民を核として、行政・事業者などが一体となって、町並みの保全や、歴史的建造物の保存と活用、次世代を担う人材の育成などに総合的・積極的に取り組む必要があります。
- 家持が詠んだ二上山は、四季折々に豊かな表情を見せ、市民に親しまれてきました。まさにふるさと高岡の景観である二上山の素晴らしさを次代へつなぐ気運の醸成に取り組む必要があります。
- これまでの近世から近代における歴史や伝統に加え、北部地域に集中する古代からの歴史的資産を合わせることで、「歴史都市」の魅力をさらに高める必要があります。



施策の展開

歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和

- 山町筋、金屋町、吉久、伏木みなと町、勝興寺寺内町、旧北陸街道沿いの町並みなどの保全とその周辺環境との調和に取り組みます。
- 二上山丘陵から伏木台地一帯に広がる北部地域の歴史・文化資産の活用と一体的な環境整備を進めます。
- 地域に根付いた生業や風土によって形成された文化的景観の調査を進めます。



歴史的建造物等の積極的な保存と活用

- 国・県・市の指定文化財等について、補修修理に努めます。
- 歴史的風致形成建造物について、資料の収集・保存および調査研究を踏まえ、その価値を広く周知し、活用に努めます。

工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事等の継承と育成

- 次世代を担う人材を養成し、工芸技術の継承に取り組みます。
- 地域固有の歴史・文化を認識し、未来の伝承者や理解者へ育っていくような環境を醸成します。

主な事業

歴史的な町並みの保全と 周辺環境の調和	・ 歴史や文化を感じられる町並み空間の創出 ・ 歴史資産の調査や魅力向上の取り組み
歴史的建造物等の積極的な 保存と活用	・ 文化財の保存修理 ・ 「赤レンガの銀行」の利活用

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値(R8)
地域の歴史・文化遺産に関するまちづくり 出前講座の実施数	11回／年 (H30)	15回／年



吉久の町並み





暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている

1 地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成



現状と課題

- 市民の芸術・文化活動は、多種多様な分野で幅広く展開されています。また、万葉のふるさとづくりなど高岡固有の歴史・文化に根差した芸術・文化活動も活発に行われています。それらの活動を連携させることで、相互に刺激を受け、新しい価値や文化、産業の創出、市民の暮らしの質の向上につなげていくことが求められています。
- 時間や場所を問わず、芸術・文化活動が行われる環境を作ることで、市民が日常的にクリエイティブな活動に触れ親しみ、市全体で芸術・文化を推進していく機運を醸成していくことが求められています。
- 万葉集が令和の典拠となったことで、万葉集への関心が大きく高まりました。万葉集やその時代の歴史や文化に親しみ、楽しみ学ぶ機会を提供することで、万葉ファンを拡大し、万葉のふるさとづくりをさらに推進することが求められています。



施策の展開

芸術・文化活動の支援

- 地域で育まれた伝統文化を継承する芸術文化団体等と連携しながら、芸術文化活動の充実を図ります。また、高岡市民文化振興事業団等と連携し、文化振興策としての事業の実施を図るとともに、オンライン発信等の新たな手段を含めた市民の創作活動の支援や発表の場の提供に努めます。

文化施設の有効活用

- 市民が気軽に地域の歴史や文化に親しむことができるよう、文化施設ごとの立地や特徴を活かした展示を充実させ、地域の魅力を再発見し学ぶことができる機会の提供や環境づくりに努めるとともに、施設間の連携強化を図ることで、文化施設の利用を推進します。



- 「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」において、日本を代表するまんが家藤子・F・不二雄氏の作品の魅力と作品に込められたメッセージや世界観を発信します。また、市内に点在する関連スポットやドラえもんトラム等をつなぎ、一体的に魅力を発信します。

万葉のふるさとづくり

- 万葉まつりなど万葉集にちなんだイベントの開催や、オンラインでの発信により、万葉のふるさと高岡を全国にPRし、万葉のふるさとづくりを推進します。
- 万葉の研究を一層進めるとともに、誰もが気軽に万葉集や越中万葉の世界を楽しむことができる場、交流、学びの場としての機能の拡充に努めます。
- 各地の万葉愛好団体等との交流を図り、万葉故地ネットワークづくりを進めます。
- 万葉に関する講座など市民の万葉学習の振興を図るとともに、学校教育の場でも万葉歴史館による出前教室の実施や越中万葉かるたを活用した学習活動に努めます。

主な事業

芸術・文化活動の支援	・新たな芸術・文化活動の推進 ・まちなかや歴史・文化資産をステージにしたイベントの実施、配信 ・ホール機能のあり方について整理・検討
文化施設の有効活用	・藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの運営
万葉のふるさとづくり	・「万葉のふるさと高岡」を発信する取り組みの推進

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値(R8)
市場街の現地イベント来場者数及びオンライン配信動画の視聴者数	24,300人／年 (R元)	27,000人／年
高岡市万葉歴史館の入館者数	22,736人／年 (H30)	27,300人／年